

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		介護福祉士が7/18(38%)しかいない。	介護福祉士が50%超え、キャリアアップでき、ケアの向上ができる。	H24.129介護福祉士資格試験3名受験予定	3ヶ月
2		B棟は、男性スタッフがいない。	各ユニットに1名ずつは男性スタッフを従事し、入居者の精神の安定を図る。	新人採用時、男性スタッフ優先していく。日頃でも男性スタッフ(事務員も)に協力をあおぎ、交流を深めてもらう。	12ヶ月
3		入居者のADLの低下により、本来のGHの理念から離れて老健と同じ状況の中で、スタッフの負担が大きくなっている。	調理をA・B共同で、分担して行うことにより、手間を省き、余った時間でケアの充実を図っていく。	買い物の話し合いの際、どっちが何を作るかを決めて、手間を省けるようにしていく。	3ヶ月
4		入居者が急変したときが不安。	異常が早期発見でき、急変に対してもすばやく的確な対応ができる。	1ヶ月に1回、事例を元にカンファレンスをしたり、研修に参加したりしていく。	12ヶ月